

第137回生涯教育研修セミナー

日時 2025年10月25日(土) 午後3:00～6:30

方法 ハイブリッド開催 (zoom配信/現地:ハイアットリージェンシー東京 地下1階 桃山)

※参加費無料、事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたは二次元コードにて10月19日(日)までに参加登録フォームにて参加登録をお願いいたします。現地参加ご希望の場合も参加登録フォームからご登録ください。

https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_AHjRKuNjQIaE_PX-6oaSuw

※登録完了後、現地参加ご希望の方にもzoom視聴用URLをお送りいたします。

※登録後1週間以上経ってもzoom視聴用URLが届かない場合は、恐れ入りますが事務局までご連絡ください。

※登録完了後に参加方法の変更を希望される方は、必ず事務局までご連絡ください。



参加対象

慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位

日本医師会生涯教育制度参加証交付 3単位 カリキュラムコード 57, 60, 62, 73

開会の辞

挨拶

医学部長・次期慶應医学会長 武林 亨

三四会会長 武田 純三

テーマ

『健康寿命の延伸に向けて ～運動器疾患による麻痺と疼痛の克服～』

医療・医学の進歩により平均寿命は伸び、日本は世界一の長寿大国となった。その一方で、平均寿命と健康寿命との乖離により、介護保険における要介護・要支援者数は増加の一途を辿り、その支出は総医療費の4分の1を超えるまで膨らみ、課題先進国とも言える。政府から発出された健康日本21第3次案においても、健康寿命の延伸が最重要な目的に挙げられている。なかでも転倒・骨折、腰痛、関節痛などの運動器疾患は、要介護・要支援の主原因の一つであり、今後これらの課題をどのように克服するかが喫緊の課題と言える。

本セミナーでは、運動器として重要な骨、関節軟骨・椎間板、脊髄に関する先進的な研究を行ってきた3名の演者に、超高齢社会における麻痺と疼痛の克服に向けた治療戦略に関するご講演をいただく。そして最後に、いまやCommon diseasesとも言える「がん」に対する整形外科の新たな試みとしてのがん口コモに関してご講演いただく。これらの講演が、超高齢社会を迎えた日本における健康寿命の延伸につながる糸口になれば幸いである。

モデレーター

慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 教授 中村 雅也

1. 『健康寿命を支える骨折治癒：血管から解き明かす骨修復メカニズム』

慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 助教 伊賀 隆史

2. 『脊髄再生による麻痺の克服に向けて』

慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 専任講師 名越 慈人

3. 『軟骨・椎間板再生による健康寿命の延伸』

東海大学医学部 外科学系整形外科学 教授 渡辺 雅彦

4. 『知っておきたい「がん口コモ」 ―がん診療における整形外科の新たな役割―』

帝京大学医学部 整形外科学講座 主任教授 河野 博隆

挨拶

閉会の辞

大正製薬株式会社 取締役常務執行役員 北谷 脩

生涯教育研修セミナー委員会委員長・慶應医師会会長 佐々木 淳一

次回予定 2026年2月28日(土)開催

共催 慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会
慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会
慶應医学会
大正製薬株式会社

連絡先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail:med-somu-3@adst.keio.ac.jp